

これが 多文化社会 専門人材だ!

第9回

国内のグローバル化と大学の役割

2015年12月12日(土)

13:00-18:10 (懇親会18:15-19:30)

東京外国語大学 府中キャンパス (西武多摩川線 多磨駅徒歩5分)

要事前申込 (定員 200 人)

入場無料 (懇親会のみ 3,000 円)

主催: 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター Tel.042-330-5441
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

申込先: <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

第9回 多文化社会実践研究・全国フォーラム

入管法の改正による「高度専門職」や「介護」といった在留資格の新設、および「技能実習制度」の拡大などにより、日本社会の多文化化はさらなる進展が想定されます。労働、教育、医療、行政など、あらゆる分野に問題が浮上する中で、課題解決にあたることのできる専門的人材の養成の必要性はますます高まっています。

そこで本フォーラムでは、外国人労働者受け入れに関する新たな動きに対して、今後どのような課題が浮上するのか、またそれに対応するためにはどのような人材が求められるのか、実践的な視点から議論します。また今年は、そうした日本の多文化化の問題解決に寄与する専門人材の養成に取り組んできた本センター設立10年目の節目にあたり、その成果と課題を振り返り、今後を展望します。

申込方法

本センター HP のフォームからお申込みください。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

※インターネット環境のない場合は下記にご連絡ください。

問い合わせ

東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター

Tel. 042-330-5441

Fax. 042-330-5448

プログラム 2015年12月12日(土)

13:00—

■挨拶 立石 博高 (東京外国語大学長)

13:05—13:35

■基調講演 佐藤 郡衛 (目白大学長)

多文化社会の課題解決に大学はどう貢献できるのか

13:45—16:00

■研究発表セッション

◆個人／グループ発表

日本の多言語・多文化化に取り組んでいる研究者および実践者(自治体、国際交流協会、NPO等の職員等)による発表
(発表者・発表内容は、10月下旬以降センター HP にてご案内します)

■特定課題セッション

◆多文化社会専門人材の専門性をどう評価するのか
—認定研究の成果と課題

- ・多文化社会コーディネーター研究報告
- ・コミュニティ通訳研究報告

~~16:20—18:10~~

→ 16:10-18:00に変更になりました

■パネルディスカッション

外国人受け入れの新たな展開と専門人材養成のあり方

パネリスト

指宿 昭一 (弁護士)

- ・入管法改正の問題と多言語人材のあり方

須田 潔 (社会福祉法人不二健育会 ケアポート板橋 施設長)

村上 隆宏 (社会福祉法人不二健育会 ケアポート板橋 人事総務室長)

- ・「介護」における外国人材の活用と課題

—EPAによる候補生受け入れの経験から

松岡 真理恵 (多文化社会コーディネーター養成講座1期修了者)

- ・多文化社会コーディネーターの実務に求められる専門性

青山 亨 (多言語・多文化教育研究センター長)

- ・多言語・多文化教育研究センター 10年の成果と課題
そして展望

18:15—19:30

■懇親会 (アゴラ・グローバル1階)

参加者同士の交流を通してネットワークを広げてください。

※詳細はセンターHPをご覧ください。
(内容等若干変更する場合があります)